

(介護サービス従事者の方へ)

在宅療養に関するアンケート調査

調査ご協力をお願い

近年、高齢者をはじめとした在宅医療・介護を取り巻く環境は大きく変化し、今後在宅での療養生活を送る区民は増加していくことが見込まれます。高齢者が住み慣れた地域で安心して療養生活を続けるためには、医療・介護の関係者が連携し、本人・家族が望む生活の実現に向けて支援することが重要であり、その仕組みづくりが喫緊の課題となっています。

練馬区では、在宅療養に関する取組を検討する際の基礎資料とするため、医療・介護の関係者を対象に、「在宅療養に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、調査結果は、この調査の目的以外に使用することはありません。

平成 25 年 8 月

練馬区

記入上の注意事項

- 1 このアンケートは、各事業所において現場での経験を積んでおられる方がご記入くださるようお願いいたします。
- 2 「在宅」療養とは、利用者の自宅だけでなく、施設や高齢者向け住宅なども含むものとします。

《送信期限・問い合わせ先》

ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、**8月21日(水)まで**に FAX で担当までお送りください。(調査票は3枚あります。)

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

連絡先：練馬区健康福祉事業本部地域医療担当部地域医療課医療連携担当係

電話：03-5984-4673 (直通) FAX：03-5984-1211

アンケート調査票

問1 所属している事業所のサービス種類をご記入ください。

()

問2 平成24年中に在宅または施設での看取りを行った利用者は何人ですか。

() 人

問3 在宅療養を行うにあたって多職種連携は必要だと思いますか。

- ① 必要である ② 必要でない（問3-2へ）

《問3で「②必要でない」と答えた方にお聞きします》

問3-2 必要でないと考える理由は何ですか。

- ① 職種によって制度や考え方が異なり連携するのは困難だから
② それぞれの専門分野の仕事を行えば事足りるから
③ その他 ()

《全員の方にお聞きします》

問4 多職種連携が進んでいない理由は何だと思いますか。（複数回答可）

- ① 介護従事者の医療に関する知識や理解が不足している
② お互いに多忙で連絡がとれない
③ 個人情報保護の観点から情報が共有されない
④ 交流の場がない
⑤ 誰と連絡をとればいいのかわからない
⑥ 医療従事者の介護や福祉に関する知識や理解が不足している
⑦ その他 ()

問5 多職種連携を進めるためには何が必要だと思いますか。（複数回答可）

- ① 事例検討会、研修や交流会をとおした顔の見える関係づくり
② ICT（情報通信技術）を活用したタイムリーな情報のやりとり
③ 多職種をコーディネートできる人材の育成
④ 医療・介護の知識や制度、各職種の専門性の相互理解のための研修
⑤ その他 ()

問6 多職種連携において認知症特有の課題はどんなことだと思いますか。（複数回答可）

- ① 認知症対応の医療機関や介護サービスの情報が不足
② 医療機関や相談機関、介護サービス事業者とのコミュニケーションの場が不足
③ 早期発見、早期に医療や介護につなげる必要性の理解が不十分
④ 老老世帯やひとり暮らしの方等、当事者の意思決定を支えるしくみが整っていない
⑤ その他 ()

